

米の消費動向調査のしくみ

1. 目的

「米の消費動向調査」は、消費者の毎月の米の消費状況を把握することを目的としています。

2. 対象

全国の消費者世帯を対象に実施しています。調査対象世帯数は月平均で約 2000 世帯ですが、有効回答率の変動により、毎月の有効調査世帯数も変動します。なお、農林漁家世帯（農林漁業を営む世帯）は調査対象から除外しています。

3. 調査の方法

調査は、インターネットを用いた自記式アンケート調査です。12 か月間、毎月継続して調査に協力いただける世帯にモニターをお願いし、調査票に入力していただきます。

家庭内消費量については、世帯の調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量を入力いただき、中食・外食の消費量については、回答者の調査当月 7 日間の家庭炊飯以外で食べた米飯の量を入力いただきます。

集計に当たっては、有効調査世帯の偏りの影響を除くため、世帯人員構成比が国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整しています。

4. 調査世帯の入れ替え

(1) 平成 30 年度まで

調査対象世帯には、当年 4 月から翌年 3 月までの 1 年間の協力をお願いしていたことから、年度毎に調査対象世帯の入れ替えを行い、翌年度 4 月の調査から協力をいただいています。また、都合により途中でリタイアされる世帯もあるため、年度の途中で補充を行うことがあります。なお、入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際にはご注意ください。

(2) 令和元年度以降

年度毎に調査対象世帯を一度に入れ替えることによる客体誤差を軽減するため、客体入れ替え方法を変更します。

令和元年度については年度初めの 4 月に総入れ替えを行い、年度途中の 9 月に約半数の入れ替えを行います。令和 2 年度以降は、4 月と 9 月に約半数ずつを入れ替えを行います。また、都合により途中でリタイアされる世帯もあるため、年度の途中で補充を行うことがあります。なお、入れ替え方式の変更や補充による調査結果の補正は行っていないため、平成 30 年度以前の調査結果との経年比較等の際にはご注意ください。

以上